

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
【1 付属病院の基本的方向の検討】 ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る	第二期医療大改革プランの策定 ・ワーキングによる課題抽出 ・外部有識者による検討 (フィードバック)		第二期医療大改革プラン(H29～R8)の推進		
【2 アクションプランの推進】 ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、収入を確保するとともに、経費節減に努め収支の改善を図り繰入金を縮減していく	第2次アクションプラン改訂版(H26～H30)の検証		第3次アクションプランの策定		第3次アクションプラン(H31～R3)の推進・進行管理
【教育研究機能の充実】 臨床教育講師を中心とした実習システムの充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・臨床実習体制の強化 目標:臨床教育講師数(平成30年度までに42人)		臨床教育講師数の維持向上 (目標)44人		(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す 目標:臨床教育講師数の維持向上【令和3年度までに56人】
【政策的なリハビリテーション医療の推進】 平成26年10月から回復期病棟において開始した365日リハビリテーションにより、リハビリテーション医療の充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・回復期病棟における患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上 目標:回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)		臨床教育講師数の維持向上 (目標)65人		(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す
【経営改善の推進】 地域医療連携部をより一層強化し、急性期病院からの患者の確保に努める	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上 目標:病床利用率(全体)85%		臨床教育講師数の維持向上 (目標)56人		(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す (目標)病床利用率(全体)85.5%
	(目標)38人 [40人]	(目標)41人 [43人]	(目標)44人 [55人]	(目標)65人 [56人]	
	[6.59単位]	[6.81単位]	[6.78単位]	[7.40単位]	
	(目標)84% [84.8%]	[82.7%]	[85.1%]	[83.5%]	
	「脳卒中地域連携パス」の運用、連携病院との意見交換会、急性期病院への空床情報の提供				

※ ⇄ は改革期間及び推進事項を表示

※ ⇄⇄ は改革期間及び推進事項の修正

※ []は目標達成状況, 【 】修正後の目標を表示